

[様式 2]

御提案書	
技術分野	④ (「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
御提案件名	BSJ 複合菌 (微生物菌) を用いての地盤改良
御提案者	株三輪環境 三輪 有子
<p>1. 技術等の概要</p> <p><BSJ 複合菌とは?></p> <p>純粋な植物から抽出された 70 万種類の優れた食品菌である。無毒性であり微生物製剤、配合飼料として使われている。重金属や毒性のある農薬、油分を中和するほか放射性物質のセシウム、ストロンチウム、ウランなどの処理能力をも持ち合わせている。人体に対して害を与えない。この BSJ 複合菌は何か有害な物質を処理しても、そこからさらなる二次的有害物質を生み出さない。安全性が保障されている。</p> <p><BSJ 複合菌を用いての地盤改良の方法></p> <p>*BSJ 複合菌は袋内で菌が眠っている状態のため、使用前には黒糖や米ぬかを使用して菌を活性化させる前処理が必要となる。</p> <p>～放射能汚染土壌 200 坪基準の処理混合順序～</p> <p>① 前処理 配合</p> <p>BSJ 複合菌 300Kg+黒砂糖 180Kg+水 45L 混合 24 時間経過後、水 4.000L に溶いて 12 時間経過後、汚染土壌 200 坪全体にまんべんなく散布する。</p> <p>② 黒砂糖を使用せず、米ぬかを使う場合、BSJ 複合菌 300Kg+米ぬか 200Kg を混合し、倉庫に保管する。太陽紫外線を避けて 7 日保管後、放射能汚染された土壌 200 坪に散布して水 4.000L を散布する。処理 1 時間以内に数値を測定すると、放射性ストロンチウム、セシウムは、36～40%低減する。その後 14 日経過後には放射性物質不検出となる。</p> <p>(自然放射能数値まで処理して不検出になります。)</p> <p><BSJ 複合菌の性能></p> <p>BSJ 複合菌は 110 度という高温でも活動が可能。低温ではマイナス 40 度でも生存が可能。マイナス 45 度では死んでしまい、無菌状態となる。</p> <p>BSJ 複合菌 (70 万種余りの複合剤優種菌) は他の微生物とは比較にならないほどの強い力、強い破壊力、強い分解力、強い保護力を持ち合わせている。</p> <p><BSJ 複合菌保有者></p> <p>BSJ Life Science Laboratories MICROORGANISM ENVIRONMENT, INK. PINE PHARM, INK. President Byungsoo , Jang</p>	

2. 備考

BSJ 複合菌の開発は 80 年代～行われてきた。改良に改良を重ね、現在の性能の高い微生物菌が開発された。

農業・土壌改良・水質改良・畜産・医療・美容業界と幅広い分野で使用され、それぞれの分野において効果を発揮している。

・開発・実用化に向けた課題・留意点

BSJ 複合菌にて汚染物質を処理する際、外部環境（温度）と処理時の温度設定調整をしっかりと行うことが重要である。

・その他

BSJ 複合菌・複合微生物菌製剤培養体：大韓民国特許登録第 0356762 号



(備考) 技術提案募集の内容（6 分野）

- ① 汚染水貯蔵（タンク等）
- ② 汚染水処理（トリチウム処理等）
- ③ 港湾内の海水の浄化（海水中の放射性物質の除去等）
- ④ 建屋内の汚染水管理（建屋内止水、地盤改良等）
- ⑤ 地下水流入抑制の敷地管理（遮水壁、フェーシング等）
- ⑥ 地下水等の挙動把握（地下水に係るデータ収集の手法、水質の分析技術等）